

CREATING A PROSPEROUS FUTURE TOGETHER WITH KYUSHU



ミニディスクロージャー誌 兼 営業のご報告

平成29年4月1日 ▶ 平成30年3月31日

目次 P1 ごあいさつ／P2 第2次グループ中期経営計画～お客様にとって九州トップの総合金融グループへ～／P5 地域と私たちの持続可能な成長の実現のために～ESG課題への取り組み～／P9 財務ハイライト／P13 九州フィナンシャルグループのネットワーク／P14 株主の皆様へ



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ



肥後銀行



鹿児島銀行

豊かな未来のために。これからも、ともに。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

九州フィナンシャルグループは、おかげさまで、昨年10月に2周年を迎えました。これもひとえに、皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、平成29年度の国内経済は、世界経済の緩やかな成長のもと回復基調が続きましたが、人口減少や長引く低金利など地方銀行を取り巻く金融経済環境は、依然、厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、目指す姿として「お客様にとって九州トップの総合金融グループ」を掲げ、「第1次グループ中期経営計画（「協働ステージ」～平成30年3月）」を策定し、「お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築」に向け、着実に統合効果を創出してまいりました。

本年度からは、「融合ステージ」と位置付けた「第2次グループ中期経営計画」をスタートいたしました。スピード感を持ってグループの融合を進め、グループシナジーを最大限に発揮することにより、「活力あふれる地域社会」をお客様や地域の皆様と共に創りあげていく「地域活力共創グループ」への進化を目指してまいります。

また、地元熊本に甚大な被害をもたらした熊本地震からの「創造的復興」に向け、今後もグループ一体となり継続的な支援に取り組んでまいります。

引き続き、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成30年6月 株式会社九州フィナンシャルグループ



代表取締役会長
甲斐 隆博

代表取締役社長
上村 基宏

会社概要（平成30年3月末現在）



九州フィナンシャルグループ

本店所在地（登記上の住所）

鹿児島県鹿児島市金生町6番6号

本社所在地（本社機能）

熊本県熊本市中央区練兵町1番地

代 表 者 代表取締役会長 甲斐 隆博

（肥後銀行 取締役頭取）

代表取締役社長 上村 基宏

（鹿児島銀行 取締役頭取）

資 本 金 360億円

設 立 日 平成27年10月1日

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

福岡証券取引所本則市場

証 券 コ ー ド 7180



創 立 大正14年7月25日

資 本 金 181億円

本店所在地 熊本県熊本市中央区

練兵町1番地

店 舗 数 123か店

本支店 118・出張所 4・

海外駐在員事務所 1

従 業 員 2,277人



はじめよう、あたらしいコト。
鹿児島銀行

創 立 明治12年10月6日

資 本 金 181億円

本店所在地 鹿児島県鹿児島市

金生町6番6号

店 舗 数 151か店

本支店 114・出張所 11・

代理店 25・

海外駐在員事務所 1

従 業 員 2,186人

お客様にとって九州トップの総合金融グループへ

九州フィナンシャルグループは、2018年4月～2021年3月における第2次グループ中期経営計画を策定しました。

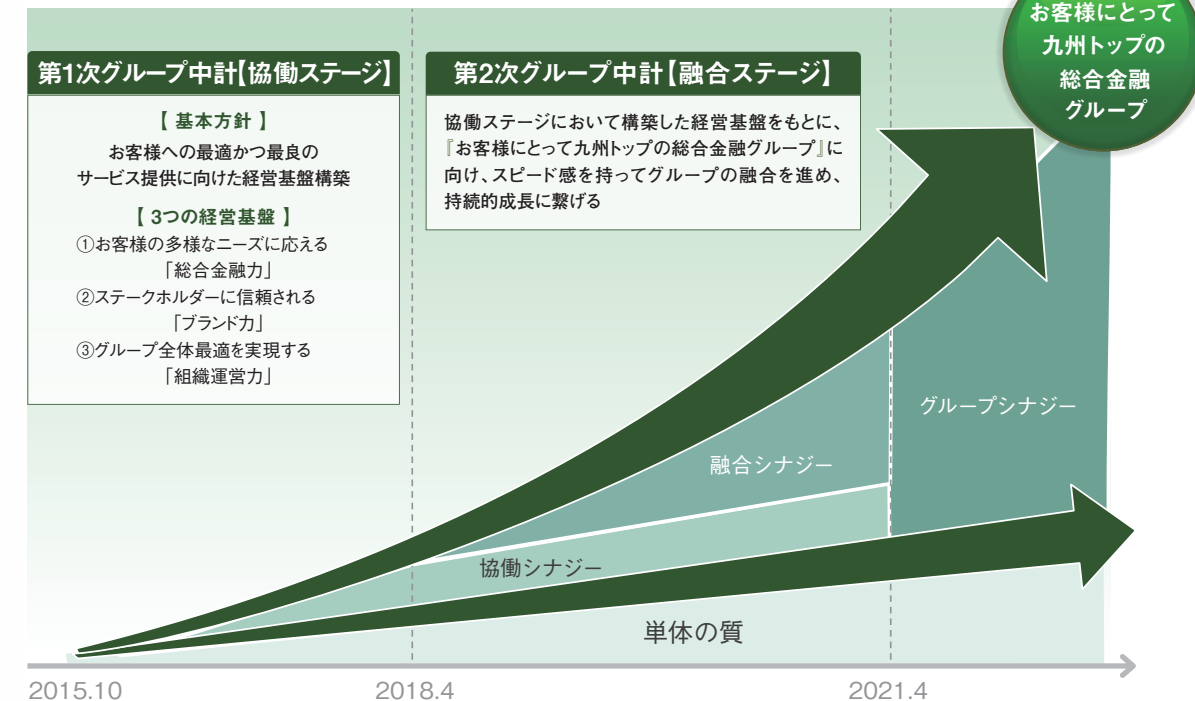
グループ経営理念

- 1.お客様の信頼と期待に応え、**最適かつ最良の総合金融サービスを提供**します。
- 2.地域とともに成長し、**活力あふれる地域社会の実現**に積極的に貢献します。
- 3.豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

第1次グループ中期経営計画（2015年10月～2018年3月）において、目指す姿を「お客様にとって九州トップの総合金融グループ」とし、協働・融合の2つのステージでの実現を目指すとしてまいりました。

協働ステージでは「お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築」を基本方針とし、「総合金融力」「ブランド力」「組織運営力」の3つの経営基盤強化に取り組んでまいりました。

■第2次グループ中期経営計画の位置づけ



第2次グループ中期経営計画（2018年4月～2021年3月）

外部環境
地方の構造的問題
人口流出・少子高齢化 域内産業の縮小 相続預金の域外流出
マイナス金利の継続
急速な技術革新と実装加速
地政学リスクの拡大

グループ経営課題

地方創生	総合金融力 ●収益力強化 ●高付加価値化 ●技術革新 ●生産性向上
グループガバナンス	人材育成

内部環境・第1次中計振り返り
収益性・効率性
コンサル・ソリューション力
九州FGブランドの浸透
技術革新への対応
生産性向上（最適資源配分）
人材育成の強化



協働ステージにおいて構築
グループシナジーを最大化

基本方針

お客様にとって最適かつ最良のサービス提供に向け

基本戦略	戦略の柱
(1)「地域活力共創」 グループへの進化	① 地域総合金融機能の 高度化 ② 地域産業振興機能の発揮
(2) グループ人材力の 強化	① 人材マネジメントの 高度化 ② 人材開発の高度化
(3) グループガバナンスの 高度化	① 経営管理態勢の充実 ② 生産性の向上

した経営基盤をもとに
させていく「融合ステージ」



たグループシナジーの最大化

指標目標

	項 目	最終年度目標値	基準
成長性	貸出金平残	7.6兆円	2行合算
	預金・NCD平残	9.2兆円	
収益性	当期純利益	250億円	連結
	お客様向けサービス 業務利益*	140億円	
	株主資本ROE	4%台	
効率性	OHR	70%未満	
健全性	自己資本比率	10%以上	

※お客様向けサービス業務利益：貸出金平残×預貸金利鞘＋役務収益等利益－経費

第2次グループ中期経営計画の策定にあたり、「外部環境」「内部環境」「第1次グループ中期経営計画の振り返り」の観点から、グループ経営課題を「地方創生への貢献」「総合金融力の高度化」「グループガバナンスの高度化」「人材育成の強化」と設定し、この課題解決に向け、従来の「成長性・収益性・健全性」に加え、「社会性」の観点から新たな価値を創造してまいります。

本中期経営計画は、第1次グループ中期経営計画（協働ステージ）において構築した経営基盤をもとに、目指す姿『お客様にとって九州トップの総合金融グループ』の実現に向け、これまでグループとして育んできた協働のシナジーに、融合によるシナジーを加え、グループシナジーとして最大化させていく期間（融合ステージ）と位置付けております。

基本方針に「お客様にとって最適かつ最良のサービス提供に向けたグループシナジーの最大化」、基本戦略に「『地域活力共創』グループへの進化」「グループ人材力の強化」「グループガバナンスの高度化」を掲げ、本業である地域総合金融機能（金融面の取り組み）を更に高度化することに加え、地域産業振興機能（非金融面の取り組み）を強化していくことにより、お客様や地域とともに、活力あふれる地域社会の実現「地域活力共創」に創造的かつ主体的に取り組んでまいります。

また、グループガバナンスを高度化し、生産性向上に取り組むとともに、グループの人材力を高め、グループの経営資源（人・モノ・カネ・時間・情報）を最適化する仕組みを構築し、お客様との関係強化や事業領域の多角化に向け優先的に配分していくなど、当社グループの持続的成長に繋げてまいります。



詳しくは、ホームページをご覧ください。
両行の経営計画についてもご覧いただけます。

九州FG

肥後銀行

鹿児島銀行



地方創生

人口減少

地域と私たちの持続可能な成長の実現のために

ESG課題への取り組み

私たち九州フィナンシャルグループは、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）の観点から様々な課題解決に向けて取り組み、地域社会の持続的な発展に貢献したいと考えております。またその取り組みを通じて、企業価値の向上に努めております。

産業振興

環境保全

女性活躍支援

ダイバーシティ

美しい環境を次世代へ

環境
Environment

環境保全への取り組み

肥後銀行では、平成18年より、「阿蘇大観の森」において、水源涵養林の保全・育成のための植樹活動に取り組んでいるほか、平成23年からは、「阿蘇水掛の棚田」において、水田湛水事業の一環として休耕田を活用した田植え・稲刈りを行っています。同棚田は、平成29年度（第29回）くまもと景観賞にて「緑と水の景観賞」を受賞しました。

肥後銀行



水田湛水事業の一環である田植え

鹿児島銀行



九州森林の日植樹祭

鹿児島銀行では、鹿児島県より、県地球温暖化対策推進条例に基づく取り組みが評価され、「かごしま温室効果ガス排出抑制事業者」優秀賞を受賞しました。また、平成24年度より毎年、「九州森林の日植樹祭」に参加し、植樹活動を通じた環境保全に努めています。

九州フィナンシャルグループでは、環境に配慮した経営事業に取り組んでいるお客様を応援する、様々な融資制度やローンをご準備しています。

肥後銀行

- 🌱 クリーンくまもとビジネスローン
- 🌱 くまもとグリーン保証制度

- 🌱 熊本県経営革新等支援資金（環境対策関連）

鹿児島銀行

- 🌱 環境格付融資・ローン
- 🌱 環境対策サポート保証

- 🌱 環境配慮促進資金
- 🌱 快適な環境・職場づくり支援貸付

など

活力あふれる 地域社会を目指して

社会
Social

女性活躍推進に向けた取り組み

肥後銀行と鹿児島銀行では、「仕事と育児・介護の両立支援」「キャリア開発に向けた研修」「働き方改革」などに積極的に取り組んでおり、様々な機関から表彰等を受けています。

肥後銀行
平成30年 1月29日 「熊本市子育て支援優良企業」認定および表彰
平成30年 2月 8日 「熊本県男女共同参画推進事業者表彰 社会づくり貢献部門」受賞

鹿児島銀行
平成29年10月10日 鹿児島労働局より「プラチナくるみん」認定
平成29年11月 8日 「鹿児島市イクボス推進同盟」参画



地域の人材育成に向けた取り組み

肥後銀行では、平成30年4月、本店内に「肥銀ビジネス教育(株)」を設立しました。同社は、行員教育体制の充実を図り、地域の課題解決支援を担う人材を育成するとともに、地域人材の育成に向けた教育サービスの提供を目指します。

鹿児島銀行では、独自性のあるビジネスプランを持つ学生や教職員の発掘を行い、事業化に向けた支援を行うことで地域活性化およびベンチャーマインドあふれる人材の育成を目指すことを目的として、「かぎん未来創造プランコンテスト」を開催しました。平成30年10月には第2回目を開催予定です。



新入行員向け研修の様子



かぎん未来創造プランコンテスト

地域ファンドへの積極的な取り組み

肥後銀行および鹿児島銀行の共同設立・ファンドへの出資

平成29年度 合計28件、総額45億円

- | | |
|-----------------|--------------|
| 肥後・鹿児島地域活性化ファンド | くまもと復興応援ファンド |
| KFG地域企業応援ファンド | くまもと未来創生ファンド |
| KFGアグリファンド | |



肥後・鹿児島地域活性化ファンド出資先
割烹 櫓杏 (香港)



KFGアグリファンド出資先
株式会社春一番

強固なガバナンス 態勢に向けて

ガバナンス
Governance

コーポレートガバナンス・ガイドライン、コンプライアンスの遵守、リスク管理

九州フィナンシャルグループは、証券取引所が定める独立性基準に基づき、当社グループが定める「社外役員の独立性基準」を充足する独立取締役を選任しているほか、コーポレートガバナンス・ガイドラインを定めるなど、強固なガバナンス体制の構築に努めています。また、コンプライアンス基本方針、リスク管理基本方針等に基づく健全性・収益性の確保に努めています。

＜独立取締役＞

九州フィナンシャルグループ	2名
肥後銀行	2名
鹿児島銀行	2名

※平成30年6月26日現在

独立取締役とは…

会社との間に利害関係を持たず、持続的な企業価値の創造に資する観点から経営の監督を行う。

九州FG証券の設立

「貯蓄から資産形成へ」と金融資産を取り巻く環境が大きく変わる中、証券業務に対し高度化・多様化するお客様のニーズにお応えするため、平成30年1月、九州FG証券株式会社を創業しました。

今後は、肥後銀行や鹿児島銀行と連携し、株式や債券、投資信託の販売など資産運用の面でお客様のニーズに幅広くお応えしていきます。



▶ 取扱業務や店舗などは、本誌裏表紙をご覧ください。

財務ハイライト (平成29年度)



営業の概況
九州フィナンシャルグループ (KFG) 連結

科 目	平成29年度	前年度比	平成28年度
経常収益	164,696	△7,520	172,216
経常利益	29,381	7,848	21,532
親会社株主に帰属する当期純利益	19,395	4,793	14,602
自己資本比率	11.79%	△0.59%	12.38%

2行単体合算 (肥後銀行・鹿児島銀行)

科 目	2行合算		
	平成29年度	前年度比	平成28年度
経常収益	137,171	△12,671	149,843
業務粗利益	99,124	△4,644	103,769
うち資金利益	91,786	△678	92,464
経費 (除く臨時処理分)	71,045	△3,001	74,046
コア業務純益	31,780	1,965	29,815
業務純益	32,966	4,719	28,246
経常利益	33,682	5,157	28,524
当期純利益	23,303	3,700	19,602

総預金残高	85,907	2,931	82,976
貸出金残高	64,863	3,751	61,111
預り資産残高	11,208	336	10,872

(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

親会社株主に帰属する
当期純利益

経常利益

29,381 百万円

19,395 百万円

POINT

経常収益：国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少等により、前年度比75億20百万円減少

DOWN

経常利益：与信費用の減少および株式等関係損益の増加等により、前年度比78億48百万円増加

UPI

親会社株主に帰属する当期純利益：前年度比47億93百万円増加

UPI

POINT

業務粗利益：国債等債券損益の減少によるその他業務利益の減少や役務取引等利益が減少したことなどから、前年度比46億44百万円減少

DOWN

業務純益：生産性向上に向けた業務効率化の施策を積極的に推進した結果、経費が減少したことと、一般貸倒引当金が戻入益となったことから、前年度比47億19百万円増加

UPI

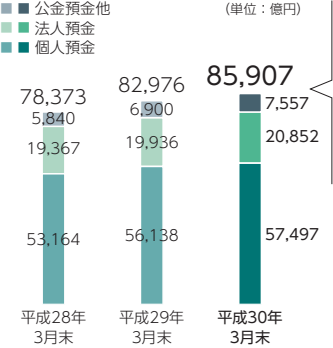
経常利益：業務純益が増加したことから、前年度比51億57百万円増加

UPI

当期純利益：前年度比37億円増加

UPI

総預金の状況 (2行単体合算)

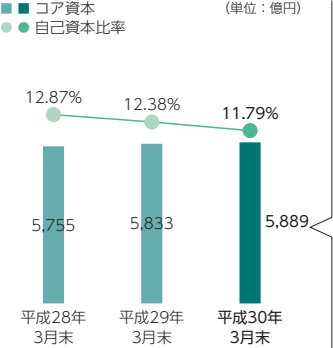


POINT

総預金の状況：UPI

2行合算で、29年3月末比2,931億円増加（増加率3.5%）し、期末残高は8兆5,907億円

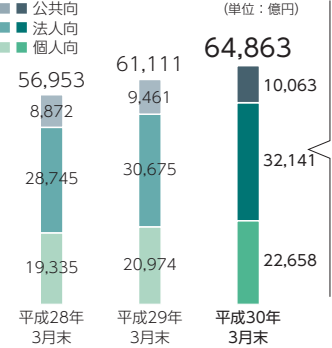
自己資本比率の状況 (KFG連結)



POINT

バーゼルⅢに基づく国内基準により自己資本比率を算出した結果、肥後銀行で11.08%、鹿児島銀行で10.72%、KFG連結ベースで29年3月末比0.59ポイント低下し、11.79%。比率が低下した理由は、貸出金の増加に伴い分母のリスク・アセットが増加したことによるもの。
(KFG連結ベースの自己資本比率は、経営統合時の会計処理において、鹿児島銀行の有価証券評価差額金等が「負ののれん発生益」を通じて自己資本に取り込まれたため両行の自己資本比率より上昇しております。)

貸出金の状況 (2行単体合算)

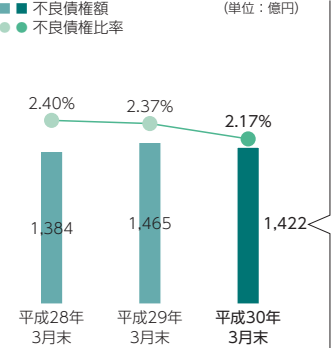


POINT

貸出金の状況：UPI

肥後銀行では、中小企業向けを中心に法人向け貸出、鹿児島銀行では個人ローンを中心とした個人向け貸出が増加。2行合算で、29年3月末比3,751億円増加し（増加率6.1%）、期末残高は6兆4,863億円

金融再生法開示債権の状況 (2行単体合算)



POINT

肥後銀行で634億円、鹿児島銀行で788億円、2行合算で29年3月末比42億円減少し、1,422億円。
金融再生法開示債権の総与信に占める割合、いわゆる不良債権比率は、肥後銀行で1.94%、鹿児島銀行で2.41%、2行合算で29年3月末比0.20%改善し、2.17%。不良債権比率が改善したのは、地域のお客様を積極的に支援した結果、不良債権額が減少したこと、また、分母の総与信額が増加したことによるもの。

長期格付 (平成30年3月末現在)

九州フィナンシャルグループ	A+	(株) 格付投資情報センター (R&I)		S&Pグローバル・レーティング・ジャパン (株)	
		肥後銀行	A+	鹿児島銀行	A-



経常利益

17,971

百万円

当期純利益

12,311

百万円

損益の状況

(単位：百万円)

科 目	平成29年度	前年度比	平成28年度
経常収益	70,428	△6,491	76,920
業務粗利益	52,203	△2,069	54,273
経費	37,186	△2,196	39,383
コア業務純益	14,720	1,849	12,870
業務純益	16,173	690	15,483
経常利益	17,971	5,606	12,364
当期純利益	12,311	3,552	8,759

POINT

経常収益は4期ぶりの減収、経常利益は2期ぶりの増益、当期純利益も2期ぶりの増益となりました。

業務粗利益：国債等債券損益の減少を主因としたその他業務利益の減少及び資金利益の減少により、前年度比20億69百万円減少

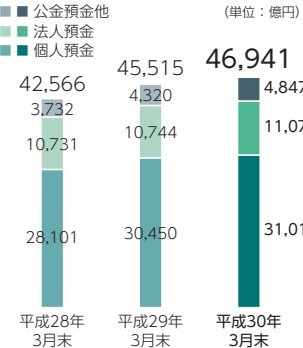
経費：業務粗利益は減少したものの、経費が減少したほか、一般貸倒引当金が戻入益となったことから、前年度比6億90百万円増加

コア業務純益：熊本地震後のお取引先の復旧復興を積極的に支援した結果、与信コストへの影響が一巡し、不良債権処理額が減少した他、株式等関係損益の増加等により臨時損益が49億12百万円改善したため、前年度比56億6百万円増加

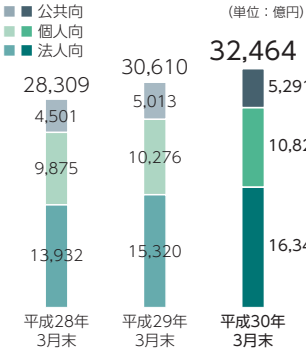
業務純益：前年度比35億52百万円増加

UP!

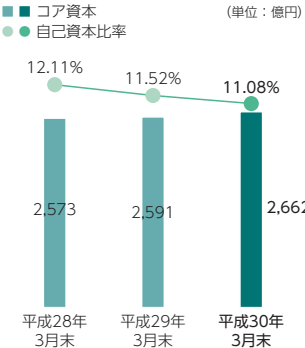
総預金の状況



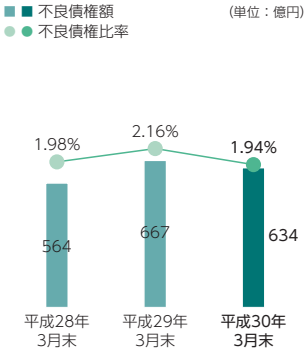
貸出金の状況



自己資本比率の状況



金融再生法開示債権の状況



※部分直接償却は実施しておりません。



経常利益

15,711

百万円

当期純利益

10,991

百万円

損益の状況

(単位：百万円)

科 目	平成29年度	前年度比	平成28年度
経常収益	66,742	△6,179	72,922
業務粗利益	46,920	△2,575	49,495
経費	33,858	△804	34,663
コア業務純益	17,060	115	16,944
業務純益	16,793	4,029	12,763
経常利益	15,711	△449	16,160
当期純利益	10,991	148	10,842

POINT

経常収益は3期ぶりの減収、経常利益は3期連続の減益、当期純利益は2期ぶりの増益となりました。

業務粗利益：資金利益は増加したものの、役務等利益の減少に加え、国債等債券損益の減少を主因としたその他業務利益の減少により、前年度比25億75百万円減少

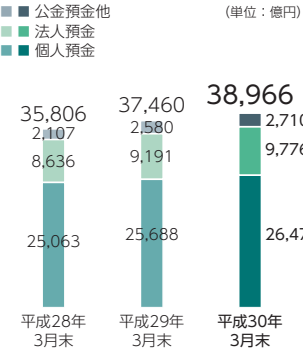
経費：経費の減少に加え、一般貸倒引当金が戻入となったことから、業務粗利益の減少をカバーし前年度比40億29百万円増加

コア業務純益：株式等関係損益の減少等による臨時損益の減少44億78百万円が業務純益の増加を上回り、前年度比4億49百万円減少

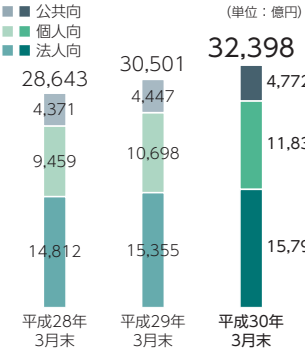
業務純益：前年度比1億48百万円増加

UP!

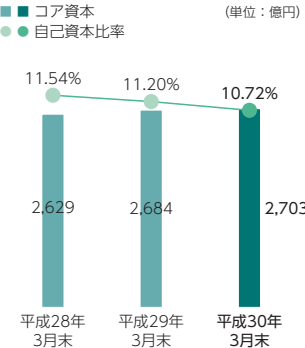
総預金の状況



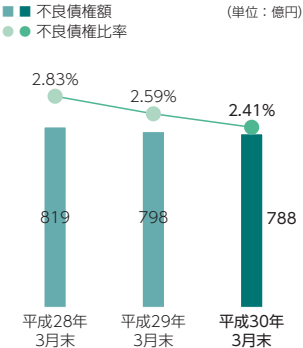
貸出金の状況



自己資本比率の状況

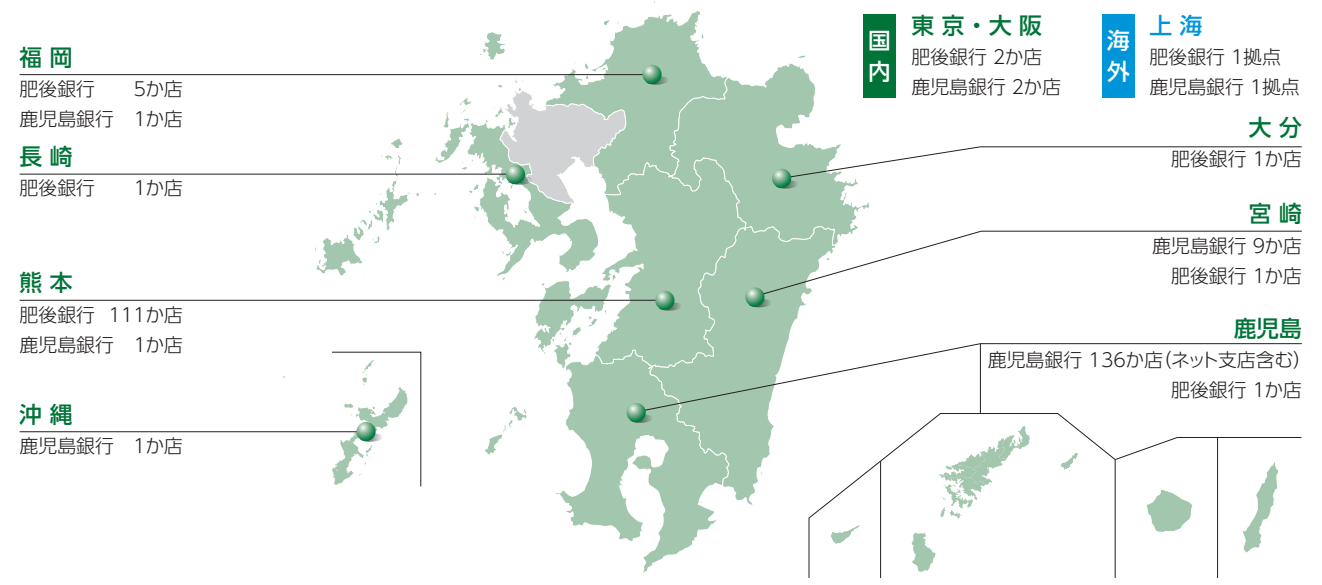


金融再生法開示債権の状況



※部分直接償却は実施しておりません。

九州フィナンシャルグループのネットワーク (平成30年3月末現在)



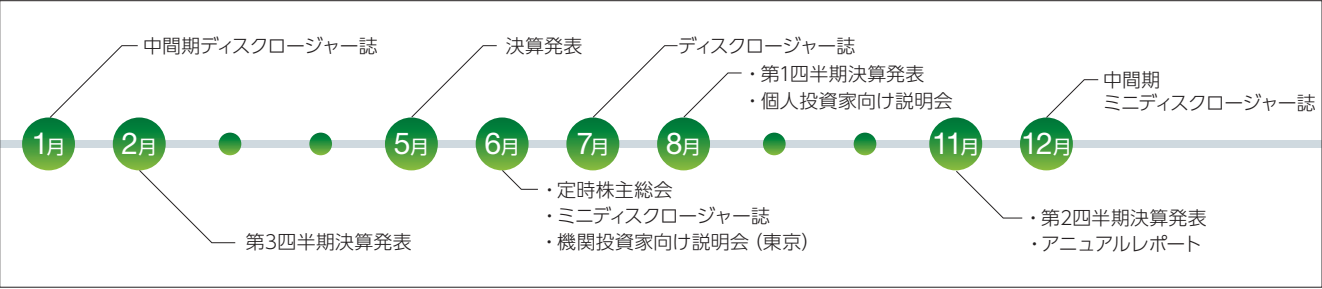
ホームページのご案内

最新IR情報やニュースリリース等は
ホームページからご覧いただけます。

九州フィナンシャルグループ 🔍

<https://www.kyushu-fg.co.jp/>

IRカレンダー



株主の皆様へ

株式数および株主数 (平成30年3月末現在)

発行済株式総数 (普通株式)	463,375,978株
株主数	18,001名

平成30年3月期の
配当について

1株あたり配当金



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎事業年度が終了した日の翌日から3か月以内に開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (https://www.kyushu-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、 熊本日日新聞および南日本新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社等に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵 送 物 送 付 先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各 種 手 続 お 取 扱 店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未 払 配 当 金 の お 支 払		みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります)

※ 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

上場株式配当等の
支払に関する
通知書について

支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

これからを、あなたのとなりで。

『貯蓄から資産形成へ』

私たちをとりまく金融環境は大きく変わろうとしています。

肥後銀行と鹿児島銀行、そして新たに誕生した『九州FG証券』。

私たち九州フィナンシャルグループは、
お客様一人おひとりに寄り添い、オーダーメイドのサービスを
ワンストップでご提供いたします。

《平成30年1月 九州FG証券開業》

九州フィナンシャルグループに、新しい仲間が加わりました。

九州FG証券では、多種多様な金融商品のご提供を通じて
お客様の様々なニーズにお応えしてまいります。



国内上場株式
上場投資信託



円建て債券
外貨建て債券
仕組債



国内投資信託

※九州FG証券の金融商品仲介業務を行う肥後銀行および鹿児島銀行では一部ご利用いただけない商品・サービスがございますので、あらかじめご了承ください。

◎熊本支店

TEL：096-277-1422

◎鹿児島支店

TEL：099-201-7390

◎宮崎支店

TEL：0985-65-6640



Kyushu FG

※九州FG証券は、肥後銀行・鹿児島銀行
とは別法人です。

九州FG証券

株式会社九州フィナンシャルグループ TEL：096-326-5588